



令和元年 11 月 13 日

県政記者クラブ 御中

[取材依頼]

組織名	JA西都
-----	------

取材項目	JA西都 重油タンク残量監視システム 本格稼働始め式	
取材内容 目的 趣旨など	JA西都にて開発が進められた重油タンクの残量監視システムについて、導入・設置が行われ、それに伴い本格稼働始め式が開催される。 1. 同システム導入までの経緯と目的 これまでの重油タンクの残量確認は、JAの職員による電話聞き取りや、ローリー車で各ハウスを回り、目視で確認した上で重油を補給していた。この方法は、巡回中に農家からの補給依頼もあり、同じ道を何度も行き来するなど非効率な補給体制であった。そこで、3年前より関係企業と協力して監視システムの開発に乗り出し、今回の本格稼働に至った。 このシステムは、パソコンなどの端末で重油の残量が確認でき、燃料切れ防止や効率的な配送によるコスト削減が期待できる。各農家は重油切れを気にせずに生育管理に集中でき、配送者は給油が必要な農家の分布を把握した上で効率的な給油ルートを組み、配送コストの削減が見込まれる。 この試みは全国的にも先進的な取り組みである。 2. 本格稼働始め式について ① 神 事 ② 挨拶 ○JA西都 代表理事組合長 平島 善範 ○JA宮崎経済連 常務理事 川野 隆典	
日 時	令和元年 11 月 19 日（火） 10:00 ～	
場 所	西都市三納地区周辺（添付地図の通り）	
担当部署 （問合せ先）	JA宮崎経済連 燃料生活部 燃料課 （担当者：押川 大智、黒木 洋次郎）	電話（0985）31－2363
添付資料	実施場所地図（会場付近に誘導がございます）	
備 考	ごはんちゃワン	